



「躍動するモンゴル経済の今」

日程／平成24年3月1日(木) 定員／30名

プログラム

第1部 16:30~17:45 2階「鶴の間」

「モンゴルの経済事情について」(逐次通訳)

(予定)Batmunkh Tumurchuluun 氏 (ウランバートル市 投資局長)
(テムルチュルン 氏)

第2部 17:45~18:45 2階「鶴の間」

「土地私有化と市民生活の変化」

滝口 良 氏 (北星学園大学非常勤講師)

「モンゴルから見た日本人ー調査だけで終わり?」

和泉 政義 氏 (㈱いずみガーデン(現地進出企業)代表取締役社長)

交流会 19:00~20:00 地下「レストラン フォーシーズン」

「世界一寒い首都」に出展して

山本 謙一 氏 (山謙工業㈱代表取締役社長)

参加無料

場所

ニューオータニイン札幌

2階「鶴の間」

(交流会:地下レストラン)

札幌市中央区北2条西1丁目1-1

TEL 011-222-1111

講師紹介

滝口 良 氏

北星学園大学非常勤講師。大阪外国語大学モンゴル語講座卒。研究テーマは市場経済化後の土地私有化と市民生活の変化。4年間モンゴルに留学し、主に首都ウランバートル市で現地調査を実施。文学修士。

主催／冬の見本市 Winter Expo ウランバートル出展委員会

構成団体:札幌市 JICA 札幌 札幌商工会議所 (社)北海道総合研究調査会 (公社)北海道国際交流・協力総合センター (公財)札幌国際プラザ

日本の約4倍の国土に278万人が住むモンゴル。首都ウランバートルには115万の人口が集中し、半数が伝統家屋「ゲル」に住む一方で、高級集合住宅やオフィスビルなどの建設も進んでいます。また、豊富な鉱物資源は世界中から注目され、大型鉱山開発の本格化に伴い、今後の経済発展とインフラ整備が期待されています。

今年1月、ウランバートル市で「Winter Expo(※)」が開催され、札幌・北海道の建築会社等5つの企業・団体が出展しました。行政や企業関係者のほか一般市民も来場し、寒冷地仕様の住宅や省エネ技術に関心が集まりました。道路・住宅等、不足するインフラ整備の促進に向け、札幌・北海道の企業進出への期待も高まっています。

この度、ウランバートル市から、テュムルチュルン投資局長が来札され、モンゴル経済の最新事情をお話いただくこととなりました。さらに、研究者や企業関係者から、土地をめぐる市民生活の変化、企業進出体験など、現代モンゴルの紹介をいただきます。関連企業・団体の皆様にぜひ、ご来場いただきたく、ご参加をお待ちしております。

(※)「Winter Expo」は、札幌市が提唱して始まった「世界冬の都市市長会議」(会員都市9カ国19都市)に併催される見本市で、冬に関する技術や環境関連技術を紹介しています。冬の都市市長会議は、2014年は韓国の華川郡、2016年は札幌で開催される予定です。

冬の見本市 Winter Expo ウランバートル出展委員会
事務局 公益財団法人札幌国際プラザ 企画プロジェクト担当 香川

TEL:011-211-3676 FAX:011-232-3833
E-mail: kagawa-m@plaza-sapporo.or.jp

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目札幌MNBビル3階

申 込

左記まで、メール、または下記申込書をFAXで送ってください。

申込締切 **2月27日(月)**

(定員になり次第締め切りますので、ご了承ください。)

モンゴル・ウランバートル勉強会 参加申込書

貴社・団体名	
氏名・役職	
連絡先 電話	
FAX	
E-mail	